



あなたは食べ物を粗末にしていますか?
未来のために、一人ひとりのために。
もう一度、「いただきます」の意味を考えてみませんか?

「いただきます」は、食べ物への感謝の言葉…
食べ物は、すべて生きていました。
命を命に替える。
「どうせまた買えばいい」と思っていないませんか?



□食品ロスの問題

食品ロスとは、食事の食べ残しや破棄のこと。食品ロス統計調査(平成12年・農水省)でのロス率は、

- ・3人以上の世帯(高齢者のいない世帯) 9.3%
- ・結婚披露宴 23.9%
- ・宴会 15.7%

これらの食品廃棄物の多くは、焼却・埋立処分されているのです。

□食品 毎日300万人分が廃棄

全国のコンビニやスーパーなどの小売店から出た賞味期限切れや返品などの売れ残り食品は膨大な量になる。農水省の推計によるとその量は約60万トン(13年度)。国連世界食料計画日本事務所のデータによると、人が1日必要な食料摂取量は約500グラム。単純に計算すると300万人以上の食事を毎日捨てていることになる。

(毎日新聞「食の現場から」2005/06/06)

宮崎の農家は
食べ物一つ一つの命を大切に
育てています。

いのちの恵みに感謝する県 みやざき



みやざきブランド推進対策とは…

消費者の方々に、安全で確かな農産物をお届けするために、生産者と関係機関が一体となって活動している宮崎県の取り組みです。

みやざきブランド推進本部

[宮崎県・JA宮崎経済連]

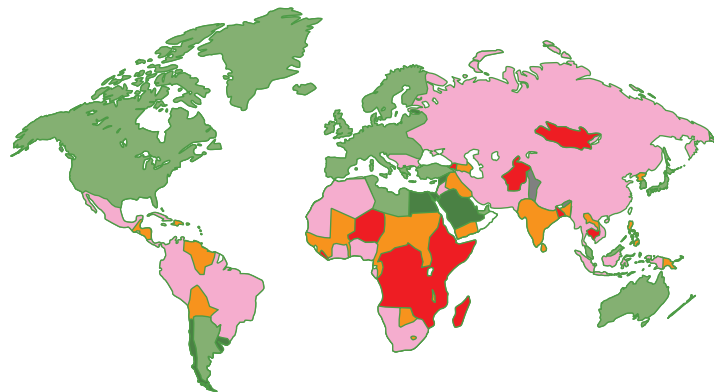
<http://www.miyazakibrand.jp/>

将 来 の 食 を 考 え て み て 下 さ い 。

① 世界では現在、
8億を超える人々が飢餓状態に陥っています。

世界には飢餓状態の国が20カ国以上あり、現在でも多くの人々が飢えに苦しんでいます。

◎世界の栄養不足人口の割合

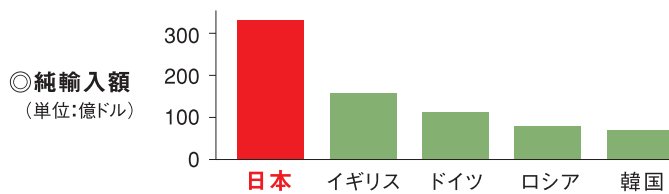


■ 35%以上 ■ 20～35% ■ 5～20% ■ 2.5～5% ■ 2.5未満%
□ データ無し □ データ不足 資料：WFP 国連世界食糧計画

② 世界全体では1年間に日本の耕地面積を上回る
500万haが砂漠化。(1分間で東京ドーム7個分に相当)

世界で農業生産に向けられる農地は、これ以上増やすことが出来ないと予想されている中、砂漠化が進んでいます。

③ 我が国は、世界一の農産物純輸入国。
2位のイギリスの2倍以上。



◎低下する日本の食糧自給率

	日本	イギリス	ドイツ	アメリカ	オーストラリア
食料自給率	40%	74%	91%	119%	230%

資料：FAO「FAOSTAT」農林水産省「食料需給表」

いのちに感謝する宮崎から提案します。 「いただきます」から始めませんか？

◎食を経済価値だけで判断していませんか？

◎家族で話しをしていますか？

昔は当たり前のように言っていた「いただきます」を、

最近あなたは言っていますか？

小さい頃、食卓ではご飯を残すと「バチがあたる」とよく叱られていました。

それらはすべて、「食べ物を大切に下さい」という家庭の中での教えでした。

家族の団らんが少なくなり、食に対する感謝の気持ちが薄れてきたと言われます。

なんでもない「いただきます」を言うことから始めませんか？

きっと楽しい家族の団らんがあるはずです。



食と農が密接な関係にある宮崎で
今も伝承される神楽(かぐら)の舞。

古くから天孫降臨の地としていくつもの神話伝説が残る宮崎では、今でも300を超す集落で神楽が伝承されています。そしてその伝承の担い手は、その集落の農家がほとんどで、直接、作物を育てる農家が夜神楽を奉納し、秋の実りに対する感謝と翌年の豊稔を祈願するものでもあります。それは、台風などの厳しい自然と共存しながら農作物を育ててきた、農家の祈りでもあり大切な神事でもあるのです。

神楽を舞う農家は、誰のためでもなく、報酬を得るためでもなく…

今でも宮崎県高千穂町では、毎年11月の末から翌年2月にかけて町内各地の集落で、三十三番の神楽が夜を徹して執り行われます。



宮崎県では消費者の方々が安心して、農産物を購入していただける産地となるよう
「情熱みやざき 産地取り組み宣言」を公表しました。(2003/10/26)

- 生産活動の一つひとつに責任を持ち、食の安全確保を徹底します。
- 安心して食べていただけるよう、適切な生産情報の提供に努めます。
- 地球環境を守るため、環境にやさしい資源循環型の農業を推進します。
- 食と農の距離をより身近にするために、みやざきならではの食育活動を進めます。
- 顔の見える取引により、食卓へお届けするまで、責任あるパートナーシップを大切にします。

(宮崎県高千穂町の棚田)